

二六七一番

今夜こよひの 有明ありあけの月夜つくよ ありつつも 君きみをおきては  
待つま人ひともなし

二六七二番

この山やまの 峰みねに近ちかしと 我あが見みつる 月つきの空そらなる  
恋こひもするかも

二六七三番

ぬばたまの 夜渡よわたる月つきの ゆつりなば 更さらにや妹いも  
に 我あが恋こひ居をらむ

二六七四番

朽網山くたみやま 夕居ゆふるる雲くもの 薄うすれ去いなば 我あれは恋こひむな  
君きみが目めを欲ほり